

工業用水道事業会計決算

平成22年度 公営企業の決算状況をお知らせします

254万円の

単年度黒字

平成22年度は、前年度と同数の25事業所に給水を行いました。給水量は、工業団地の各事業所の使用水量が増加したため、前年度に比べ8・6%の伸びとなりました。

収支は、収入が前年度より34万円減の4,302万円、支出が前年度より78万円増の4,048万円となり、254万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金返済に充てるため積み立てます。

用語解説(グラフ内)

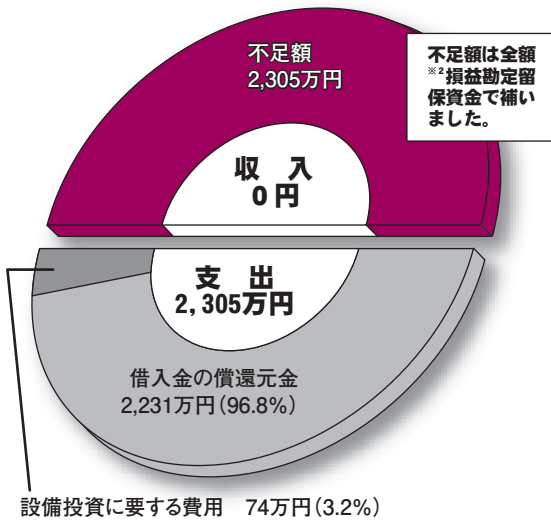
※1 減価償却費

建物や設備など、時の経過によって価値が減る分を計算し、その年度の費用とします。実際には現金の支払いはなく、会計処理上、損益勘定留保資金として処理します。

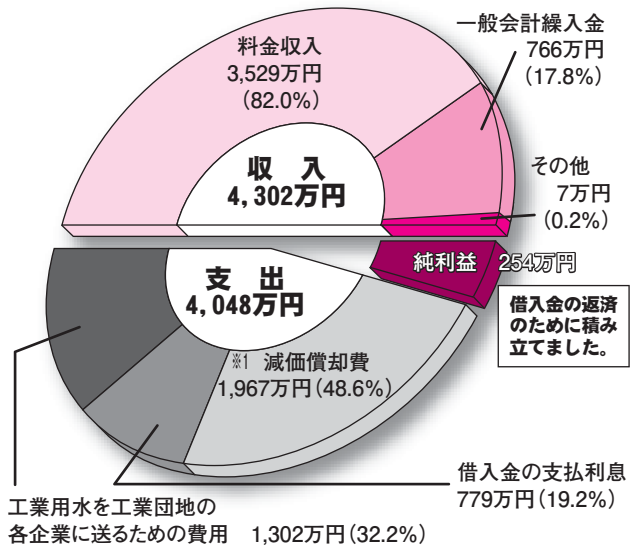
※2 損益勘定留保資金

資本的収支の不足額を会計処理上補う財源の一つで、減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金です。

資本的収支(消費税込み) (施設の整備に関する収支)

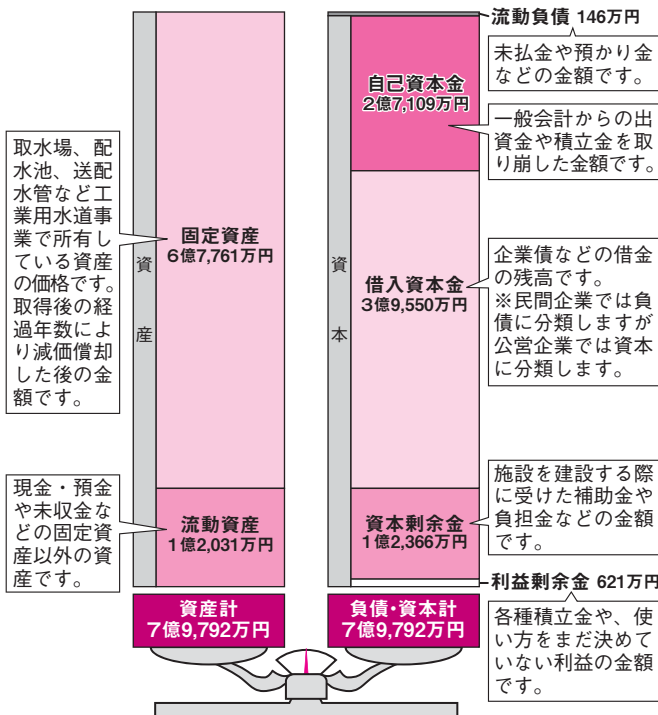


収益的収支(消費税抜き) (事業の運営に関する収支)



平成22年度 大館市工業用水道事業貸借対照表

(平成23年3月31日現在)



給水状況

給水事業所数	25事業所
配水能力	5,300m ³ /日
年間総配水量	1,215,198m ³
1日最大配水量	4,383m ³
1日平均配水量	3,329m ³

年間配水量の推移

